

よごれた水もきれいにできる

込山 ひば凜

小郡市立 東野小学校

みなさんは、浄化センターをしていますが。わたしは、宝満川浄化センターに見学に行きました。なんと水は、再利用できるので。

見学に行くと最初に下水道の役わりについてのDVDを見ました。わたしは、このDVDで下水道という物を初めて知りました。家庭などから出るよごれた水は、下水道に流れます。トイレで使った水も、お風呂で使った水も、しよつきをあらった水も下水道に流れます。もう一つ雨せんような道があります。それは、雨水管といいます。雨がふらないかぎり水が流れないそうです。

DVDを見た後、水はどうやってきれいになるか浄化センターを見学しながらお話を聞きました。まず、下水道を通って浄化センターによごれた水が集まります。それから、大きなゴミやどろなどを取りのぞきます。次に、ちんでん池という場所ですよごれた水をゆっくり流して、小さなゴミやどろをしずめます。その後、反応タンクで小さな生物活性くんをまぜてよごれをしずめやすくさせます。活性くんが、よごれを食べてくれるので、水がきれいになります。しかし、活性くんは、よごれは食べるけど油を食べてしまうと息ができなくなり死んでしまいます。だから、わたしもできるだけ油を下水道に流さないようにしようと思いました。活性くんは、よごれを食べた後一時間かけて土にもぐります。すると、最終ちんでん池で上の方にきれいな水がで

きあがります。きれいになった上の方の水だけ、水しつけんきやしようどくをして川や海に流されます。宝満川浄化センターでは、宝満川に流すそうです。

こうして、浄化センターでよごれた水をきれいにすることで、川の水がきれいなまま魚などの生物が生きられるんだなと思いました。かんきょうにも生き物にもやさしくエコだなと思いました。また、きれいになった水は、ふんすいやしんかんせんをあらうときにも使われているんだそうです。

浄化センターで、よごれた水を再利用できることを知りました。わたしたちにも、できることがあると思います。たとえば、おみそしるや牛にゆうを川にそのまますると、お風呂の水5倍や10倍の水でうすめる必要があるそうです。だから、おみそしるなどをのこさずに食べたり、お料理で使った油は、そのまま流さずにふいたり、お風呂では、シャンプーなどの使いすぎに気をつけて水を大切にしたいです。